



あなたは、  
東部地域、  
好きですか？

私はこのマチ好きだけど  
私の子ども達は  
ここにずっと住んでくれるかな？



最近  
高齢化が急速に進んでる  
気がする……



最近  
まちに活気がなくなった  
気がする？

多様な人々が生活する小牧の東部地域。

ここで生まれた人、

将来に希望を描いてやってきた人、

様々な人生がここで生まれ、

マチと共に歩んできました。

そんな東部地域が今、

たくさんの課題を抱え、悩んでいます。

2022年3月に策定された「東部振興構想」は、

課題を希望に変えるための指針です。

ここに、あなたの「好き」を足してあげたら、

このマチは、もっと素敵になるはず。

みんなで協力して取り組む  
東部地域のまちづくりに  
参加してみませんか。

一緒にまちづくりをやってみない？



一回でも参加してみませんか？

地域の課題は、みんなの課題

まちづくりを自分ごととして捉えることが必要。

だけど、まちづくりって少し面倒。

でも、こんな人口減少が進む時代だからこそ

人のつながりが大事で、人とつながることは

うれしいこと、楽しいこと。

そんな時代に東部地域で進める取組を

まとめたのがこのAction Plan。

こんな取組に参加したいと思う人を

増やすため、このAction Planを作成しました。

# 目次

プロローグ・・・・・・・・・・・・・・・・ P1

アクションプランと  
リーディングプロジェクトって何？・・・・ P6

東部振興構想とアクションプランの関係・・・・ P7

東部まちづくりの進め方・・・・・・・・ P11

リーディングプロジェクト・・・・・・・・ P13

実施中の取組一覧・・・・・・・・ P31

その他の新たな取組一覧・・・・・・・・ P43

東部まちづくりの進捗確認・・・・・・・・ P47



アクションプランと  
リーディングプロジェクトって何？

東部地域のまちづくりの  
取組を見える化したものです。



- Action Planとは、  
東部振興構想(2022年度～2031年度)  
に基づき、今後、3カ年の取組を毎年まとめる  
ものです。
- Leading Projectは、  
東部地域で関係者(住民、事業者、団体、  
学校など)とともに、新たに実施する取組のほか、  
これまでの取組を組合せ、  
プロジェクトとしたものです。

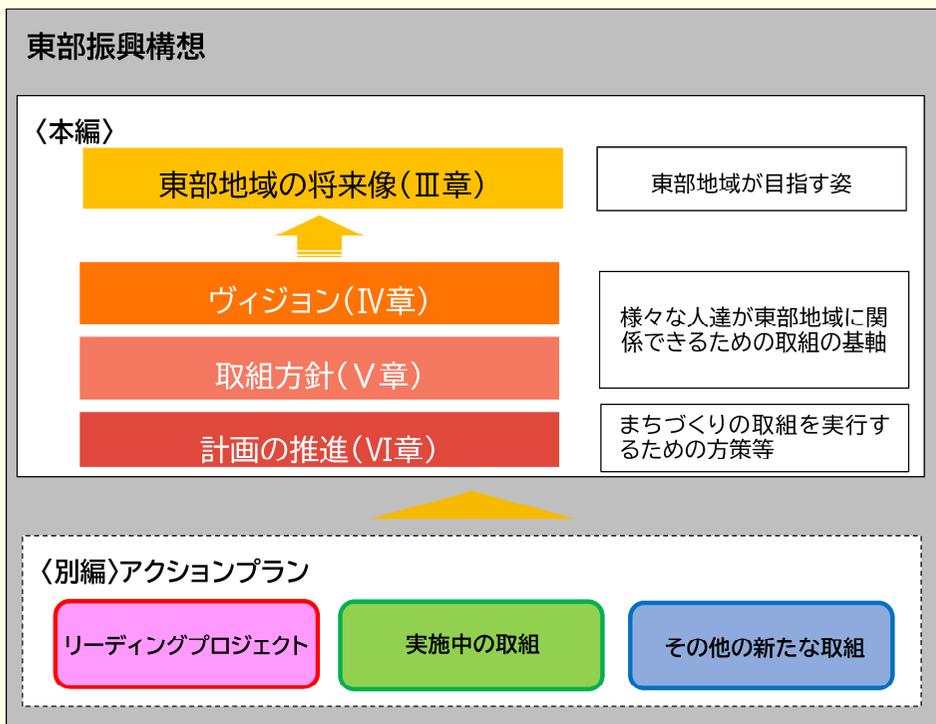
東部地域では、これまで様々な取組が行わ  
れています。

そんな取組みや新たに進める取組などを  
多くの人に知ってもらい、  
参加してもらいたくて、  
リーディングプロジェクトを見える化します。





## 東部振興構想とアクションプランの関係



※東部振興構想の体系は9・10ページにあります。



アクションプランと東部振興構想って、なにがちがうの？



構想は、まちを良くするための「行動のみちしるべ」、アクションプランは、「行動のみちしるべ」に沿って進められる取組をまとめたものだよ。



へ～そうなんだ。でも、アクションプランって具体的にどんなことがまとめられているのかな？？



アクションプランは、「リーディングプロジェクト」や「実施中の取組」、「その他の新たな取組」から成る市が毎年策定する3カ年のローリング計画だよ。



なるほど！これをみれば、今、東部地域で、どんなことが進められているかわかるってことだね！！

# 東部振興構想の体系

## ●まちづくり5原則<Ⅲ章>

一体性	東部地域一体でのまちづくり
自立性	地域住民による自立したまちづくり
多様性・活用性	多様な地域資源を連携・活用したまちづくり

柔軟性・可変性	柔軟性・可変性を持ったまちづくり
将来性	チャレンジをサポートするまちづくり

## 将来像<Ⅲ章>

“人がつながり、  
 豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり”

豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり

## ビジョン<Ⅳ章>

- 多様な人が暮らし続けられるまち  
《対象:居住者》
- 多様な職業が共存し、持続できるまち  
《対象:就業者》
- 訪れたい、住みたい魅力のあるまち  
《対象:来訪者・転入者》

## 取組方針<Ⅴ章>

高齢者	①高齢者が安心して暮らせる環境の整備
子育て世代	②子育て世代にとって魅力ある環境の整備
次世代	③若者が東部地域に愛着を持てる環境の整備
交流	④世代・国籍を越えた住民交流の促進
都市インフラ	⑤都市インフラの有効活用
農業・商工業	①地域の生業が持続・活性化する環境の整備
新規ビジネス	②新しいビジネスの創出
地域資源	①地域資源の保全、魅力向上及び発信の強化
住まい	②若年世代も住みたいくなる住まいの創出
住民活動	③ウェルカムなまちの雰囲気創出

## 取組の方向(内容)<Ⅴ章>

1. 支え合い等による日常生活の利便性の向上  
2. 高齢者のいきがい・居場所づくり
1. 地域一体での子育ての仕組みの構築  
2. 多様な働き方ができる環境の整備
1. 地域の知り合いづくりの機会の創出  
2. 地域を学ぶ(知る)・参加・提案する機会の創出
1. 世代を越えた住民の交流機会の創出  
2. 外国人・日本人住民の交流機会の創出
1. 公共空間の活用の促進  
2. 先進技術を活用した地域内移動の確保
1. 農家を支え、発展させる仕組みの構築  
2. 商工業を支える仕組みの構築  
3. 農・商・工・福の連携の促進
1. ソーシャルビジネスの活動促進  
2. チャレンジしたい起業家などの活動促進
1. 地域資源を活用した新たな魅力の創出  
2. 公園・緑道等を活用した魅力の発信  
3. 時代にあった地域魅力の発信
1. 既存住宅を活用した新たな住宅供給  
2. 安全・安心な住環境の整備
1. 新たな住民の受け入れ体制・雰囲気づくり  
2. 新たな住民を呼び込む活動の創出

## 計画の推進<Ⅵ章>

まちを育む体制の構築

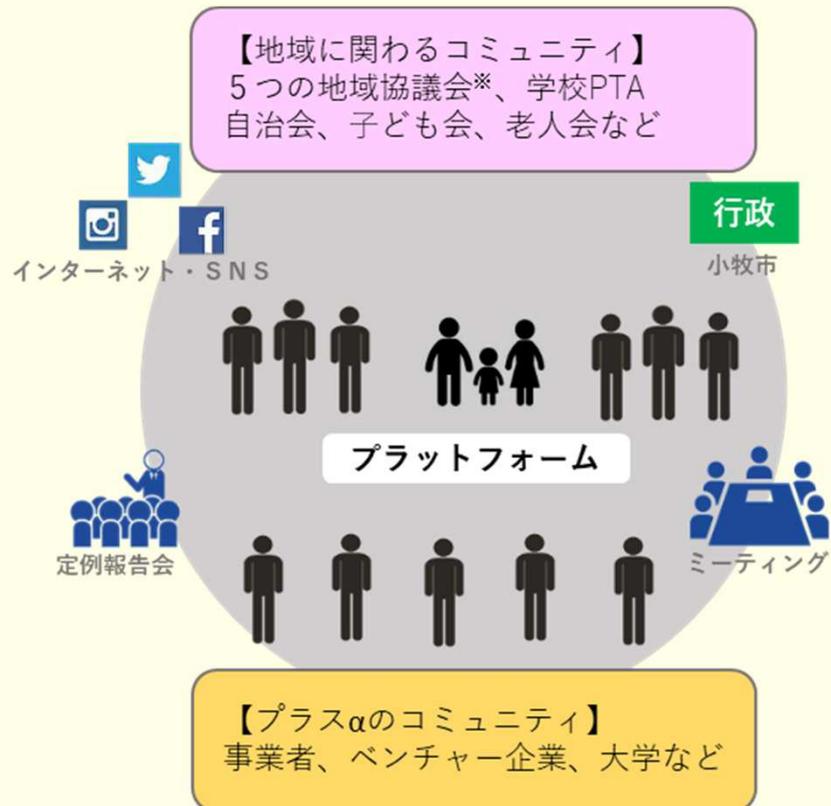
産学官民	方向① 人と人がつながる仕組みの構築
地域経営	方向② 地域活動の自立性や持続性を担保する地域経営の取り組み

1. プラットフォームの構築  
2. 中間支援組織の活用・育成
1. 好循環の地域経済の仕組みの構築  
2. スタートアップ支援



## 東部まちづくりの進め方

### 東部まちづくりプラットフォーム



東部まちづくりってどんなまちづくりを目指しているの??



今後の東部まちづくりは、地域住民をはじめ、事業者、教育機関、行政などがつながり、支え合い、チャレンジし続けるまちを目指しているよ。  
そのためにも、構想やこのアクションプランを多くの人に知ってもらうことが大切なんだよね。



へ～そうなんだ。  
でも、地域住民や事業者、教育機関が  
つながる場ってなかなかないよね。ど  
うつながっていくのかな??



東部まちづくりに興味のある人、誰で  
も集える場として、東部まちづくりプ  
ラットフォームっていう、いろんな人  
と対面はもちろん、インターネットや  
SNSなど様々なものでつながれ、交流  
できる場をつくらうとしているんだよ。



なるほど！  
まずは、構想やアクションプランを広  
く知ってもらい、この東部まちづくり  
プラットフォームに参加する人を増や  
していくことが大切なんだね。



## リーディングプロジェクト

LEADING

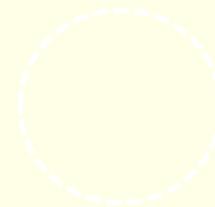
1

### 人と人がつながるプロジェクト 【市(東部まちづくり推進室)】

PROJECT

東部まちづくりプラットフォームの目的である「人のつながる場」を創出します。2022年度にスタートしたトライアル活動の「仲間増やし」や「企画のブラッシュアップ」に加え、東部振興構想に寄与する新たなトライアル活動の創出を目的にワークショップを開催します。

⇒詳細は  
19、20ページへ



LEADING

2

### まずはやってみようプロジェクト (トライアル活動支援制度) 【市(東部まちづくり推進室)】

PROJECT

人と人がつながるプロジェクトで、具体化したアイデアや東部地域に関わる方が自発的に提案する新たな取組、既存の取組をさらにブラッシュアップした取組を行政に提案し、実際にトライアルしてみます。

⇒詳細は  
21、22ページへ





## リーディングプロジェクト

LEADING

3

こどもマルシェ  
【こどもマルシェ実行委員会】

PROJECT

- ①こどもの社会体験の機会創出
  - ②育児を頑張るママ・パパへの癒しの提供
  - ③子育て世代が交流できる場の創出
- を目的にこどもマルシェを開催します。

⇒詳細は  
23、24ページへ



LEADING

4

あおぞら市場 in 緑道  
【桃ヶ丘小学校区地域協議会】

PROJECT

- ①地域の農家さんと地域住民の交流促進、
  - ②地産地消の推進
  - ③高齢者の買い物支援
- を目的に桃花台ニュータウンの充実した緑道を使用したあおぞら市場を開催します。

⇒詳細は  
25、26ページへ





## リーディングプロジェクト

LEADING

5

動画を活用した「東部地域の  
イメージアップ大作戦」  
【東部地域イメージアッププロジェクト】

PROJECT

居住地選択を必要とされる転機前の若者へ東部地域の魅力が簡便に伝わる動画を作成し、広く周知します。



⇒詳細は27、28ページへ

LEADING

6

小牧市東部の特産品  
「地産地消プラットフォーム」  
【地産地消推進チーム】

PROJECT

東部地域における地産地消の促進や食を中心に多様な人が交流できる場の創出のため、インターネット上にプラットフォームを設置します。

1/24  
OPEN



⇒詳細は29、30ページへ

プロジェクトが目指す成果

顔見知りを増やすことで、多様な人が地域活動、まちづくりに参加し、いろいろな取組のアイデアが議論され、行動の起点の場がつくられている。

プロジェクトの概要

いろいろな人とつながろう！！

東部地域には、高齢者、子育て世代、子どもも住んでいて、外国人もいます。さらには、事業所もあれば、大学もあります。

顔見知りを増やすことで、自分だけでは達成できない課題でも、みんなで協力すれば達成できるかもしれない。

そんな人と人がつながれる場を、まずは行政が設定します。



地域の人達のために  
マルシェみたいなことが  
できないかな



WSへ児童・生徒・学生の参加  
先生・教授からのアドバイス

WSへの参加  
取組の企画

学校

WSへ社員の参加  
取組へのバックアップ

市民(住民、NPO)

WS

事業者

行政

WSの運営  
メンバー募集

注:WS=ワークショップ

プロジェクトのプロセス

STEP1 もっと多くの人と交わろう

まちにはもっとたくさんの方がいて、いろんな意見を持っている人がいます。新たなメンバーも加えて東部地域の中でどんなことができたらいいか、考えます。また、既存の取組をよりよいものとする検討を行います。

STEP2 自分たちがやって楽しい企画を考えよう

STEP1で考えた企画を、実際に自分たちで行う場合、どこまでなら負担なくできるか、活動を続けられるか、費用面も含め、検討します。

ここでのポイントは、「無理しない」、「楽しんでやる」です。継続していくには、とても大切なことです。



このくらいの活動なら  
楽しく、無理なくできるかも

STEP3 アイディアを磨き、企画のまとめ

何を、いつ、どこで、誰と、どんなふうにするか。その準備にどのくらい時間が必要か。スケジュールを立てながら、みんなで無理なくできる企画提案をまとめます。必要に応じて、市の補助金の申請手続きを進めます。

## LEADING PROJECT 2

### まずはやってみようプロジェクト (トライアル活動支援制度)

#### プロジェクトが目指す成果

地域の住民や企業、大学、行政などが協力して、  
チャレンジしている！！

#### プロジェクトの概要

失敗をおそれず、やってみる！！



リーディングプロジェクト1で具体化されたアイデアや  
東部地域に関わる方が自発的に提案する新たな取組、  
既存の取組をさらにブラッシュアップした取組を  
市に提案し、実際にトライアルしてみます。  
提案された取組で、東部振興構想到に合致する場合、  
認定支援と補助金支援の2種類でプロジェクトを  
サポートします。活動が円滑に進められるよう、  
市から支援も検討しながら無理なくトライしてみます。

- 【認定支援】公共施設の減免利用が可能。
- 【補助金支援】認定支援に加え、  
補助金上限20万円(初年度)  
上限10万円(2年度)

無理せず  
やれる範囲から進めましょう



トライアルへの参加  
先生・教授からのアドバイス

トライアルの  
運営・報告

市民(住民、NPO)

学校

トライ  
アル

行政

フィールド提供  
規制緩和等・財政支援

トライアルへの参加  
バックアップ

企業

東部振興構想の位置づけ

計画の推進 ①-1

計画の推進 ②-1、2

#### プロジェクトのプロセス

##### STEP1 企画提案をしよう

スケジュールに無理はないか、かかる費用  
は妥当なのか、確認したうえで、企画提案を申請書に  
まとめ、市に提出します。  
市の審査を受け、プロジェクト認定を受けます。

##### STEP2 まずはやってみよう

STEP1で立てた企画を、実際にやってみます。  
実施にあたっては、みんなで協力し(役割分担)、  
地域の声も聞き(交流)ながら進めます。  
また、やって「おしまい」とならないよう、イベント等に参加  
してくれた方々の感想をフィードバックしたり、次の取組に  
必要なお金を「稼ぐ」という仕組みづくりも併せて考えます。

##### STEP3 振り返ってみよう

やってみた企画の良かったところ(Keep)、  
悪かったところ(Problem)、  
次はこうしてみたい！(Try)  
について、整理し、  
持続的な活動のためには  
何が必要か振り返り、  
報告会での発表経て、  
実施報告書を作成します。



プロジェクトが目指す成果

こどもも、おとなも、みんな笑顔で、  
こどもを中心に地域を元氣する輪が広がっています。

プロジェクトの概要

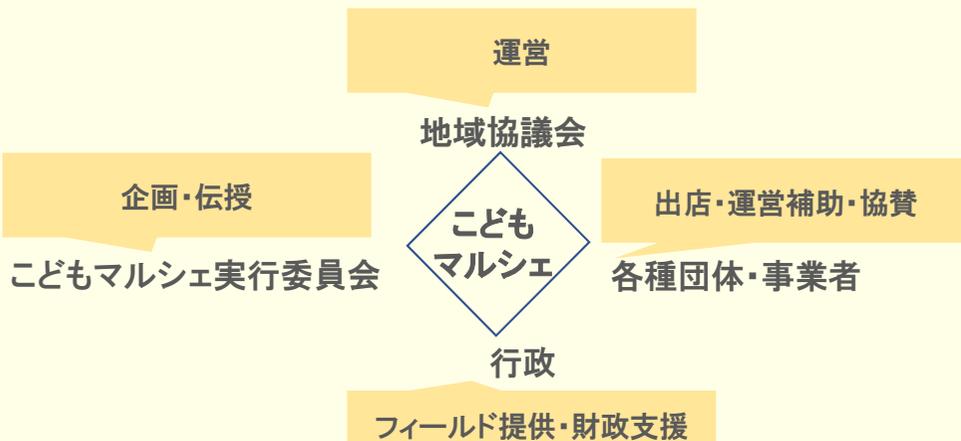
東部地域の様々なエリアで  
こどもマルシェが広がり、みんなが笑顔



- ①こどもに社会体験をしてほしい。
  - ②子育てに疲れたママ・パパに癒しを提供したい。
  - ③子育て世代の交流の場を創出したい。
- そんな想いでトライアル活動をした2022年度。  
その運営を担った

「こどもマルシェ実行委員会」の  
次の目標は、東部地域の様々な場所で、  
こどもマルシェが開かれることを期待し、  
経験したノウハウを各地域協議会へ伝える  
伝道師となることです。

こどもを中心に  
つながれる  
マルシェって  
いい発想だね、



プロジェクトのプロセス

STEP1 仲間増やしをします。

こどもマルシェを、東部地域の様々な場所で、広く開催するため、リーディングプロジェクト1人と人がつながるプロジェクトで仲間増やしをします。  
また、各地域でこどもマルシェを開催するため、5つの地域協議会との連携を進めます。

STEP2 ノウハウの取得・伝授

2022年度にトライアル活動で、実際にマルシェ開催までの全体の流れを経験しました。  
更に進化していくため、児童館と連携し、ノウハウを取得するとともに、取得したノウハウを各地域協議会へ伝授していきます。  
年間に1つの地域協議会との連携を目標に活動を進めます。

STEP3 みんなで活動します。

こどもマルシェ実行委員会が、児童館や地域協議会と協力しながら、こどもを中心に、みんなが笑顔になれるこどもマルシェを実践します。  
東部地域の各エリアの特徴を活かしながら、各地域にあったこどもマルシェを開催します。



プロジェクトが目指す成果

地域の農家と地域住民が連携・協力して生活支援にもつながる交流の場を創出しています。

プロジェクトの概要

桃花台ニュータウンの緑道を使って、軽トラ市を開きます。



- ①地域の農家と地域住民の交流促進
- ②地産地消の促進
- ③高齢者の買い物支援

トライアル活動をした2022年度の取組では、地域の農家さんが、地域で作った野菜を軽トラに並べて販売し、多くの住民が訪れました。定期開催の住民の声に答えられるよう、2023年度は、夏と秋に各1回開催できるよう準備を進めます。



あおぞら市場って農家も住民もみんな喜ぶプロジェクトだね！



プロジェクトのプロセス

STEP1

JA尾張中央、地域の農家と連携を深めます

2022年度にトライしたあおぞら市場には、多くの地域住民が足を運び、定期開催を望んでいます。定期開催に向け、JA尾張中央や地域農家さんとの絆を深め、出店いただける農家を増やします。

STEP2

地域住民も出店できる企画

地域の農家さんだけでなく、家庭菜園をする地域住民などが、出店できる仕組みとすることで、地域住民の生きがいづくりにつながる仕組みを考えます。野菜のみならず、様々なお店の出店や、こどもが来なくなる催しなど様々な企画を検討します。

STEP3

あおぞら市場を開きます

多くの地域住民の交流の場とするため、効果的な周知方法を検討するとともに、広くPR活動を行います。また、JA尾張中央、出店者などと当日の役割分担をしたうえで、あおぞら市場を開催します。

開催後は、次回のおおぞら市場をより良いものとするため、アフター会を開催します。



## LEADING PROJECT 5

# 動画を活用した 「東部地域イメージアップ大作戦」

### プロジェクトが目指す成果

動画の発信で、多くの若者が、東部地域に興味を持っています。

### プロジェクトの概要

居住地選択を必要とされる転機前の若者(20歳代)へ東部地域の魅力を簡便な動画を通してお伝えします。



2022年度のトライアル活動「動画を活用したイメージアップ大作戦」にて4つの動画を配信しました。拡散プロジェクトとしてはじめて「指先ボランティア」を引き続き進めるとともに、継続的に動画を配信、効果的に拡散するため、産学との連携を深めた取組を進めます。



komaki\_tobu

PR・撮影協力

事業所・大学など教育機関

企画

東部地域  
イメージアッププロジェクト

動画  
配信

行政

撮影編集・企画提案

大学生・地域住民など

フィールド提供  
撮影協力・動画配信

東部振興構想の位置づけ

ビジョン3 ①-3

ビジョン3 ③-2

### プロジェクトのプロセス

#### STEP1 企画案の作成

2022年度にトライアルしたプロジェクトを発展させる企画を仲間を増やししながら、立案します。

#### STEP2 連携・協力者への企画の提案

大学や事業所などに、企画のプレゼンをします。それぞれの役割分担等を提示しながら、プロジェクトに理解をいただきます。

#### STEP3 動画の配信、様々な企画の実施

多くの人・機関とそれぞれの特徴を活かした連携を進めます。

例えば、大学生であれば、大学の協力を得て学内コンペを開催し、動画コンテンツを増やします。中学生であれば、中学校とケーブルTVの協力を得て、中学生目線の魅力ある動画を作成します。

これらの企画でつくった動画を、現在進める拡散プロジェクト「指先ボランティア」を中心により多くの人にお届けします。



## LEADING PROJECT 6

# 小牧市東部の特産品 「地産地消プラットフォーム」

### プロジェクトが目指す成果

食を通して地域住民等の交流がなされ、地産地消の促進につながっています。

### プロジェクトの概要

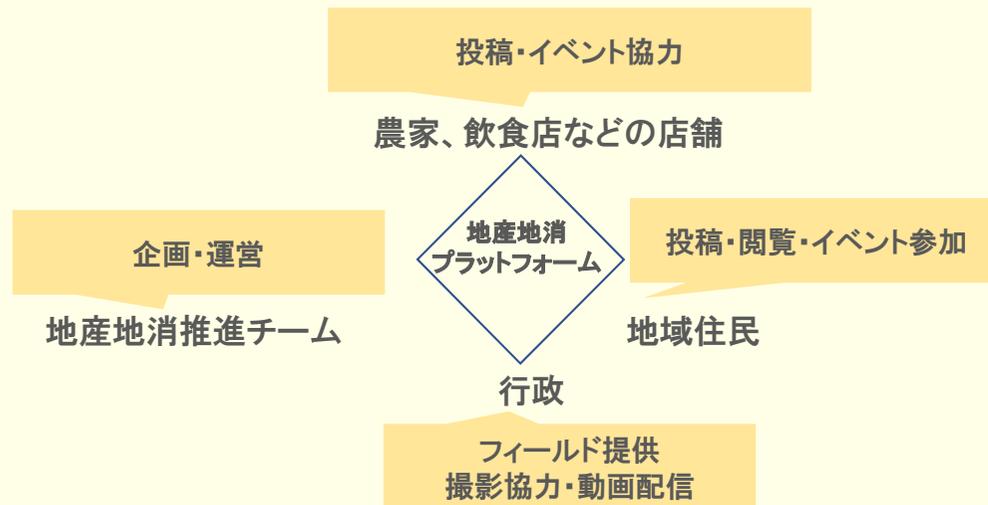
Facebookグループ機能を活用し、地産地消プラットフォームを構築し、食を通して地域住民等の交流を促すことにより、地産地消を推進します。



2023年1月24日にオープンした「地産地消プラットフォーム」内で、様々な人が東部地域産の食材を使ったレシピ、メニュー、商品を投稿します。

これらの投稿されたレシピ等をもとに、コメント機能で地域交流を図ります。

また、実際に会って交流するイベントも開催し、オンライン、オフラインと様々な交流機会を創出します。



### プロジェクトのプロセス

#### STEP1 仲間を増やします。

地産地消プラットフォームへ参加してもらえる地域住民や、農家、飲食店などを増やすため、「地産地消プラットフォーム」を広く周知します。今後は店舗の発掘ができればいいなと考えています。

また、東部地域でつながり、やってみようプロジェクトなどで、企画・運営を行う地産地消チームの仲間も増やします。

#### STEP2 オンラインでの交流

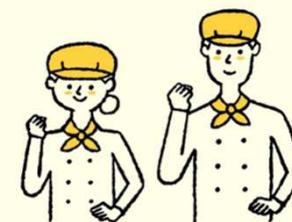
オンライン上の地産地消プラットフォームで、レシピ、メニュー、商品などの投稿を促します。

例えば、農家さんと協力して、農家さんならではのレシピや調理・保存のちょいテクなどの紹介を企画しています。

#### STEP3 オフラインでの交流

オフラインでは、実際に対面であって交流することを目的に、料理づくりイベントなどを開催します。

調理系クラブと協力し、地産地消クッキングを開いたり、地元食材で外国料理をつくるイベントなど、食をキーワードにしたイベントを開催します。





## 実施中の取組一覧

### 1-① ヴィジョン1 高齢者

#### 〈参考指標〉

生きがいを持って暮らしている  
65歳以上の住民の割合：80.9%（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
<b>充実</b> ふれあい・いきいきサロン 活性化事業	小牧市	コロナ禍からの回復に向けて取り組んでいるサロン活動の再活性化を図るため補助制度を拡充。
支え合いいきいきポイント推進事業	小牧市	地域での支え合い活動に協力した場合にポイントを付与し、そのポイントを市内限定商品券で還元する。
こまき巡回バス「こまくる」 運行事業	小牧市	交通空白地域の解消や、公共施設の利用促進を主な目的として、こまき巡回バス「こまくる」を運行。
高齢者外出支援事業	小牧市	高齢者の外出支援として、要介護1以上の方に行き先を限定しない一般タクシーの初乗料金分の利用券を交付する。また、要介護3以上の方に行き先を医療機関などに限定したリフト付きタクシー等料金の一部を助成することで、高齢者の外出支援を行う。
おたすけ隊	篠岡学区地域協議会 大城小学校区地域協議会	不安や困りごとを抱えた高齢者を地域全体で支え、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域の高齢者のちょっとした困りごと支援(庭の草取り、剪定、水やり、窓ふき、電球交換、古紙・古布出し、話し相手など)を行う活動。
食料品等の移動販売支援	光ヶ丘小学校区地域協議会	買い物に不便を感じている高齢者などを対象に移動販売車による食料品、生活必需品等の販売を行う。
高齢者移動支援事業	NPO法人生活支援 サービス・ラポール	高齢者や障がいのある方に対して、生活支援に関する事業を行い、住み慣れた地域での生活に係る問題の改善や解決を図り、安全な暮らしの向上と支え合いの地域づくりの増進に寄与することを目的に、福祉有償運送、生活の困り事支援、医療、介護等に係る相談等の活動を実施。

## 〈参考指標〉

安心して子育てができると思う

20歳代から40歳代の割合 : 71.9% (目指す方向 ↗)

取組名	実施主体	取組内容
<b>充実</b> 学習支援事業「駒来塾」	小牧市	学力の定着が進んでいない中学生を対象に、ボランティアなどによる学習支援活動を実施する。また小学6年生を対象に、中学校入学後すぐに入塾できるような仕組みを構築する。
児童クラブ開設時間延長等事業	小牧市	職員の処遇改善を実施することで職員の安定確保を図るとともに、平日午後7時までの開設時間30分延長の運営基盤を維持する。
<b>充実</b> 放課後子ども総合プラン運営事業	小牧市	国が示している放課後子ども総合プラン(児童クラブと放課後子ども教室の一体型整備)について、実施内容の評価・検証を行うとともに、実施地区を拡大する。 光ヶ丘小学校(令和3年度～)、篠岡小学校(令和4年度～)、陶小学校・大城小学校(令和5年度～)、桃ヶ丘小学校(令和6年度～)
児童館管理運営事業	小牧市	児童福祉法に規定されている児童厚生施設である児童館の管理運営。東部地域には、篠岡児童館と大城児童館が整備されており、指定管理制度にて運営を実施。

## 〈参考指標〉

次世代が参加するプロジェクト数

(まちづくりのプロジェクト数) : - (目指す方向 ↗)

取組名	実施主体	取組内容
地域3あい事業	市民・小牧市	地区の集会所などを活用したふれあい活動や学びあいを通し、地域ぐるみで子育てに関わり、お年寄りを支えることができる「ふれあい・学びあい・支えあい」の地域づくりを実施。
まちづくりスクールミーティング	小牧市	中学生と高校生の参加により実施し、グループワーク等を通して主体的に「まちづくり」について考えるきっかけとし、社会性を育むことを目的に実施。
特色ある学校づくり推進事業	小牧市	保護者や地域の方々と協働して、通学時の見守りや総合の時間を活用した体験学習など、子ども達の安全確保や学習支援の活動を行っている。
<b>充実</b> 桃花台音楽まつり	桃花台を考える会	東部地域出身のプロピアニスト前田陽一朗氏と桃陵中学校が企画から演奏会までコラボレーションした取組を進める。

取組名	実施主体	取組内容
日本語教室	小牧市国際交流協会 (KIA)	地域在住の外国人を対象に日常生活に必要な日本語を習得するための講座を開催。
多文化共生ワークショップ	小牧市	日本人市民と外国人市民が、多文化共生の課題について意見交換を行うワークショップを開催。
外国人児童生徒教育推進事業	小牧市	増加が見込まれる東南アジア系の児童生徒の日本語教育に対応するため、ベトナム語の語学相談員を配置する。
日本語塾「手まり塾」	市民	市民が発起人となり、令和元年9月より、外国籍の小中学生に対し、マンツーマン方式による日本語学習をボランティアで実施。
外国籍生徒との座談会	桃ヶ丘小学校区 地域協議会	桃ヶ丘小学校区地域協議会と桃陵中学校の外国にルーツのある生徒が“みんな「地域の人たち」助けあって笑顔で暮らせるために！”を実現するため、座談会を開催。

取組名	実施主体	取組内容
(再掲) こまき巡回バス「こまくる」運行事業	小牧市	交通空白地域の解消や、公共施設の利用促進を主な目的として、こまき巡回バス「こまくる」を運行。
公園等の貸し出し (都市公園内行為許可など)	小牧市	地元の行事や市が後援するイベントなどを行う際、公園や緑道などの貸し出しを行っている。
アダプトプログラム	小牧市・市民	住民がボランティア活動として、市内の公共施設、たとえば、道路、公園などを愛情をもって面倒をみていく仕組みとして実施中。

2-① ヴィジョン2 農業・商工業

〈参考指標〉

農業サポーター制度登録者数：24人（目指す方向 ↗ ）

取組名	実施主体	取組内容
(仮称)農業公園整備事業	小牧市	食の大切さを理解する場とするとともに、農業振興の発信の場とするため、(仮称)小牧市農業公園の整備を行う。
小牧ワイナリー	社会福祉法人AJU 自立の家	障がいのある人たちの就労支援の場として、2015年4月にオープン。ワイン事業に取組み、ぶどうの栽培、ワインの生産、加工、販売まで行っている。
モモ栽培サポーター養成講座	JA尾張中央、 地域担い手育成総合支援協議会	モモの生産者の高齢化及び担い手不足の解消、モモの産地維持のため、栽培技術者の養成を栽培現場での実習を通して進めている。
モモ栽培サポータークラブ制度	JA尾張中央、 地域担い手育成総合支援協議会	養成講座受講者に対し、モモ栽培サポータークラブに加入していただき、援農コントラクターとして生産者を支援する取組。
<b>充実</b> 企業新展開支援 プログラム推進事業	小牧市	企業新展開支援プログラムの改定に伴い、補助金制度等の見直し・充実を図り、より効果的な事業者支援を実施する。
<b>充実</b> 次世代産業推進事業	小牧市	市内次世代産業関連企業の設備導入、販路開拓、インターンシップ受入等にかかる費用の一部を助成する。また、新たに次世代産業人材の育成を図るための研修等の受講にかかる補助制度を創設する。

2-② ヴィジョン2 新規ビジネス

〈参考指標〉

東部地域における起業・

創業に対する補助件数：6件（目指す方向 ↗ ）

取組名	実施主体	取組内容
創業支援セミナー	小牧市、小牧商工会議所、 愛知県信用保証協会	創業・経営に興味のある方などを対象に、創業の基礎知識やビジネスプランの立て方、計画的な資金調達などについて学ぶ創業予定者を支援するセミナーを実施。
(再掲)高齢者移動支援事業	NPO法人生活支援 サービス・ラポール	高齢者や障がいのある方に対して、生活支援に関する事業を行い、住み慣れた地域での生活に係る問題の改善や解決を図り、安全な暮らしの向上と支え合いの地域づくりの増進に寄与することを目的に、福祉有償運送、生活の困り事支援、医療、介護等に係る相談等の活動を実施。

## 〈参考指標〉

市のホームページ（東部まちづくりニュースのページ）：－  
の年間アクセス件数

（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
新たな地域特産物の発掘 《こまきゴールド(桃)》		「こまきゴールド」は、小牧市(上末)の桃生産者の桃園で発見された新品種。平成30年1月に農林水産省に登録を出願。数年間の経過観察を経て変異なく安定して生産できると認定され、登録された。新たな地域特産物となることが期待されている。
名古屋コーチンのPR	小牧市 (一社)小牧市観光協会 小牧商工会議所	小牧市(池之内)から始まった名古屋コーチンという地域資源を最大限に活用し、「名古屋コーチン発祥の地」として、観光振興・事業振興に取り組んでいる。愛知県内でも減少傾向にある養鶏業者も小牧市では若い後継者により引き継がれている。
太良まめなしの里整備事業	小牧市	太良上池、太良下池、白浜池の三つの農業用ため池と農地及び県の天然記念物に指定されているマメナシの自生地などの豊かな自然を守るため、農地景観と自然を保全するための最低限の整備を行う。
都市ブランド戦略	小牧市	都市ブランド戦略に基づきアクションプランを策定するとともに、様々な媒体を用いて市内外に広くPRを行う。

3-② ヴィジョン3 住まい

〈参考指標〉

戸建て住宅の空き家数：166棟（目指す方向 →）

取組名	実施主体	取組内容
空き家対策推進事業	小牧市	空家等の流通及び活用を促進し、空家等の発生抑制及び適切な管理を図ることにより、総合的な空き家対策を推進するとともに、「住みたくなる」、「住みつづけたい」小牧を目指し「空き家総合相談窓口」や「空き家等除却工事費補助金」などの取組を実施。 また、令和4年度に全面施行された小牧市建築物等及び空き地の適切な管理に関する条例に基づき「緊急安全措置」を実施する。
空き家対策事業 (セミナー・相談会)	桃花台を考える会	「地域に空き家をつくらない」を目的に、地域住民向けに自分の家を将来、空き家にしない方法やポイントなどの内容で我が家の相続セミナー及び個別相談会を実施。
「まちレポこまき」 (インフラの維持管理)	小牧市	道路、緑道、公園などの不具合をLINEにより市民から情報提供してもらう「まちレポこまき」を開設。24時間365日情報提供が可能となり、安全・安心なまちづくりに寄与している。
定住促進事業	小牧市	定住促進を図るため、子育てに対する不安や負担の軽減を目的とした三世代同居・近居住宅取得、市内事業所勤務者の住宅取得や中古住宅の利活用における支援する補助を実施する。

3-③ ヴィジョン3 住民活動

〈参考指標〉

区や市民活動団体などが開催する活動に過去1年間で：29.4%  
1回以上参加したことがある地域住民の割合（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
<b>充実</b> (再掲)桃花台音楽まつり	桃花台を考える会	東部地域出身のプロピアニスト前田陽一朗氏と桃陵中学校が企画から演奏会までコラボレーションした取組を進める。
協働提案事業化制度	小牧市	市民活動団体と行政それぞれが、協働で取り組むべき地域課題等を提案し、解決に向けて取り組むことにより、小牧市を「市民が輝く活気あふれるまち」とすることを目的に実施。桃花台を考える会との取組は、協働事業として実施中。



## その他の新たな取組一覧

### 1-① ヴィジョン | 高齢者

#### 〈参考指標〉

生きがいを持って暮らしている  
65歳以上の住民の割合：80.9%（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
<b>NEW</b> 高齢者デジタルサポート事業	小牧市	情報格差(デジタルデバインド)の解消に向けて、スマホ教室等の取組みを実施する。

### 1-③ ヴィジョン | 子育て世代

#### 〈参考指標〉

安心して子育てができると思う  
20歳代から40歳代の割合：71.9%（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
<b>NEW</b> 保育料無償化拡充事業	小牧市	令和元年10月より無償化の対象となっている3歳児から5歳児に加え、市独自の少子化対策の拡充として、0歳児から2歳児までの保育料を無償化することで子育て世代の負担軽減を図る。

### 1-③ ヴィジョン | 次世代

#### 〈参考指標〉

次世代が参加するプロジェクト数 -（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
<b>NEW</b> 桃花台音楽講座	桃花台を考える会	東部地域出身のプロピアニスト 前田陽一郎氏を講師に招き、音楽文化を醸成するため、中学生他、東部地域の住民向けに音楽講座を開催する。

## 〈参考指標〉

区や市民活動団体などが開催する活動に過去1年間で：29.4%  
1回以上参加したことがある地域住民の割合 (目指す方向 ↗)

取組名	実施主体	取組内容
<b>NEW</b> (再掲) 桃花台音楽講座	桃花台を考える会	東部地域出身のプロピアニスト 前田陽一郎氏を講師に招き、音楽文化を醸成するため、中学生他、東部地域の住民向けに音楽講座を開催する。

取組名	実施主体	取組内容
<b>NEW</b> 小牧市土地利用見直し事業	小牧市	桃花台地区においては、地区計画により制限されている店舗等を沿道において立地検討するための制限緩和や、第1種中高層住居専用地域において、地区計画による第1種低層住居専用地域並の制限の見直し検討を行う。



## 東部まちづくりの進捗確認

### アクションプランの実行

リーディングプロジェクト

実施中の取組

その他の新たな取組

取組方針の  
達成度の確認

取組の改善、追加

### 10の参考指標（高齢者～住民活動） のCheck

まちの状態の把握  
まちづくりの方向性の確認

### 重要業績評価指標（KPI）のCheck

KPI(重要業績評価指標)	基準値 (基準年)	目標値 (令和8年)	目標値 (令和13年)	測定方法
東部地域の生産年齢人口割合 ※15歳～64歳	63.4% (H27)	54.0%	50.7%	国勢調査データを基に算出します。

### 東部地域の将来像の実現



東部まちづくりの進捗状況って  
どう把握していくのかな??



アクションプランは、リーディングプロジェクト、実施中の取組、その他の取組の 카테고리と併せて、構想に記載するキーワード（取組方針）ごとにも分類されているんだよ。



へ～そうなんだ。  
いろいろなカテゴリーに分類されていることはわかったけど、それがどう進捗状況の把握につながるのかな??



構想には、まちの状態を把握する指標（KPI）と、取組方針（キーワード）ごとに参考指標を設定してあるんだよ。  
それぞれ、アクションプランで取組を進めて、構想で定める指標をCheckすることで、まちづくりの進捗状況を把握するんだよ。



なるほど！  
構想の指標をCheckして、アクションプランの取組をみて、今後どんな取組が必要なのか、把握していくんだね！！

## 小牧市民憲章

市制施行30周年

わたくしたち小牧市民は、小牧を

- 1 健康で生きがいのある 明るいまちにしましょう
- 1 感謝と思いやりのある あたたかいまちにしましょう
- 1 緑とやすらぎのある 美しいまちにしましょう
- 1 高い文化と教養のある 豊かなまちにしましょう
- 1 希望と働く喜びのある 活気あふれるまちにしましょう

小牧市民憲章は、市民の道しるべとして、健康で明るい生活を送るため、また、市民一人ひとりの心構えや果たすべき役割を明確化し、心ふれあう豊かな社会を形成するため、小牧市制施行30周年を記念し、昭和60年5月15日に制定されました。

## こども夢・チャレンジNo.1都市宣言(要約)

市制施行60周年

私たちは、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援することで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまちになっていくと確信します。

そこで、私たち小牧市民は、

- 一、こどもの夢への挑戦を応援することで元気になるまち
- 一、世代を越えて市民のつながりが生まれるまち
- 一、支え合うことでさらに住みよくなっていくまち

このようなまちの実現に向け、小牧市を「こども夢・チャレンジNo.1都市」とすることを、ここに宣言します。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言は、小牧市の特徴である「子育て支援が充実している」姿を一層高め、「こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまち」を小牧市全体で目指し、市内外に発信していくため、小牧市制施行60周年を記念し、平成27年5月17日に宣言しました。